

# たんぽぽ



vol. 116

令和3年10月発行

発行者 放送大学

富山学習センター

責任者 所長 門脇 真

## 学生の放送大学での研究

一般的に大学教育においては、最初の1年半から2年程は「一般教育」あるいは「教養教育」（放送大学が教養学部で行っている教養教育、リベラル・アーツとは違います）と呼ばれる、大学に相応しい広範かつ高度な知識の習得や語学教育等に充てられている。その後、専門基礎教育、専門教育が始まり、3年生の後半頃から学生たちは、理工系や医薬系などでは卒業研究のため各研究室に配属され、人文社会系では各教員のゼミナールに参加するようになり、少人数教育が始まる。私は薬学が専門であるので実験系の研究室を主宰しており、そこに毎年12月頃から3年生が参画するようになる。

ここで多くの学生たちは大きな壁に直面する。学生たちは、生まれてからずっと幼稚園、小学校、中学校、高校、そして大学と、テストや入試等で、「いかに早く正確に解答を導き出すか」が、その個人を評価する指標であり、それがその学生の能力、学力と称されてきた。すなわち、「正解のある知」をずっと求められ続けてきたし、そのために努力もしてきている。ところが、研究室に入った途端、学生たちは「正解のない世界、正解を誰も知らない世界」に入り込むわけで、真面目な学生ほど大きな戸惑いを感じるようである。

研究というのは、誰かがこれまでにやった実験をもう一度繰り返すという実習とは大きく異なり、誰もやったことのない実験をする、だれも証明したことがない実験をするという事を意味する。今まで世界中の誰も見た事のない現象を観察する事、誰も発見、発明した事のない事を世界で初めて見出す事は、非常にダイナミックで、心躍る出来事であり、これこそが研究の醍醐味である。しかし、これは多くの学生にとって生まれて初めての経験である。効率的に「早く正解を導き出す」技術を修得する世界から、この「正解のない、誰も知らない」未踏の世界への変化に学生たちは戸惑うが、

## 富山学習センター所長 門脇 真

それを乗り越えるキーワードは、ノーベル物理学賞を受賞した真鍋淑郎博士も言っていた「知的好奇心」であると思う。

放送大学の学生たちも、学部での卒業研究、修士課程での研究、博士課程での研究など放送大学で研究を行う機会があり、その相談も受けている。どんな研究をしたらよいのか、何を目的にしたらよいのか、そのためにはどの様に研究したらよいのかなど、多くは研究を始める、その第一歩目の相談である。これまで経験がないのだから、戸惑うのは当然と思いつつながら、先ずはお話を聞かせて頂く。そして殆どの相談には「知りたい」という知的欲求と好奇心が感じられるため、まだ「ぼんやり」としている、今、自分が「何を知りたいのか」、「何をしたいのか」を文章化して明確にする作業を行い、その後、それは「今まで誰も明らかにした事がない」事なのかを調査して、それらのはっきりすれば、研究を開始している。

「正解のない問いに満ちた世界」は苦しいですが、自分が「何をしたいか」を常に見つめ続けられれば、乗り越えられると思う。しかし、学生時代の研究の経験がそのまま社会で役立つわけではない。社会に出ればそれまで以上の「正解のない問いに満ちた世界」で、もがき苦しむ場合が多い。それらの正解のない課題に直面した時、それまでの知識、経験等を総動員して、科学的に論理的に合理的に対応を探っていく。その科学的な論理的思考能力を大学での研究で鍛錬し身に付ける、それこそが放送大学での研究の大きな意義であると思っている。



# 令和3年度第1学期「卒業証書・学位記授与式」

9月26日(日)に富山学習センターにおいて、「卒業証書・学位記授与式」が開催されました。式には、卒業生25名のうち11名が出席され、門脇所長からお一人ずつに卒業証書・学位記が授与されました。来賓代表として富山学窓会の津本会長からお祝いの言葉を、卒業生代表の宮腰希望さんから謝辞をいただきました。

なお、富山学習センター所属の卒業生のコース内訳及び特別表彰（複数回の卒業となる方などが対象）は下記のとおりです。

皆様のご努力に敬意を表し、心からお慶び申し上げます。

ご卒業  
おめでとうございます！



## ◆ 令和3年度第1学期 教養学部卒業生

コース	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	計	累計
人数	8	13	2	1	0	1	25	876

## ◆ 富山学習センター特別表彰 5名

## ◆ 記念撮影



所長式辞



卒業生代表謝辞



学窓会会長祝辞

## 卒業生からのメッセージ

念願の放送大学に入学し6年半、私も人並み卒業生となれた。入学した時を思い返せば、卒業はずっと先、自分は何年で卒業できるか皆無、少し心配もした。そんな焦りもあり初年度は8科目も登録してしまい、めっちゃくちゃ勉強の時間を費やす羽目となった。気持ちに余裕が持てたのは「学力と学習支援の心理学」の科目を受講したことがきっかけとなり、自分なりの勉強法を身に付けることが出来るようになった事からだ。今は勉強させてもらえるのが、本当に楽しい。毎日の勉強時間は、生活のリズム、習慣、そして私の一部分となった。

今、誰もコロナ禍で、何処へも行けない、会いたい人にも会えない、集まって会話も出来ない、その中で焦ることなく自宅で勉強ができ時間を有意義に使い、知識をもらい、目標や目的、夢までも描くことが出来る、何よりも自分に肯定感が持てて自信にも繋がった。卒業を迎えるにあたり全てに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

(心理と教育コース：谷口かよ子)

学び始めたきっかけは、幼稚園教諭免許の特例制度ができ、興味本位でHPを見て、私も学び直したいなあ、ついでにキャリアアップできれば・・・と軽い気持ちからでした。いつの間にか卒業を迎えることができました。自分のペースで学べるということ、面接授業もとても良かったです。

放送大学のおかげで潤いのある日々を送っています。1つの目標達成を味わうことができ幸せです。学習センターの皆様には大変お世話になっています。ありがとうございました。

(心理と教育コース：M.I)

「放送大学で学ぼう」と思ったきっかけは、心理と教育コースにて心理学をもっと深く知り学びたいと思ったからです。退職後2年制の専門学校で幼児教育を学んだ後、放送大学の3年次編入学により入学しました。放送大学の授業は、受講方法の選択肢も多く、また優れた教授陣・講師による講義内容は、とても良く理解できました。ITの時代になり、いつでもどこでも学べる世の中(環境)になったことは素晴らしいことだと思います。

私が編入学後、2年半で受講した教科の中には、放送大学長の岩永雅也先生の授業が何度もありました。学長自らと驚いたことの一つです。オンライン授業は、興味をそそる具体例など多くあり、知識も広がり、好奇心にかられることも増したと感じています。

人は、それぞれ、その人に与えられた環境で生きています。「学ぶ」ことを心の糧として明日を迎えたいです。

最後に、卒業にあたり、諸先生、学習センター職員の皆様に感謝申し上げます。

(心理と教育コース：C.Y)



私は平成12年に選科履修生として入学して、最初の1学期は微積分入門Ⅰを受講させて頂きました。仕事をやりながら勉強するというのが不安でしたが、合格することが出来まして、次の学期に2科目受講しました。折あしく普通自動車運転免許の教習、母の入院と試験が襲いかかって来まして、再試験になってしまいましたが、選科生として入学した1年後、大学卒業を決意して全科履修生「自然と環境」コースに入学しました。

仕事と勉強との両立にも悩みながら時間と勝負をして勉強していました。中でも数学や物理学、化学の勉強に苦勞しました。中学生範囲、高校生範囲の分野を復習しながらテキストの学習に励んでいました。何度もくじけそうになりましたが、一つ一つの科目を再試験になっても2度で合格しなくても、単位が取れるまで頑張るのだと、粘り強く根気強く取り組んで来ました。試験が近くなると睡眠時間を削って勉強していました。この努力を20年間積み重ねて、今日やっと卒業までたどり着く事が出来ました。

放送大学の職員さん、学生仲間の皆様、亡き母、周りの友人の支えのおかげで卒業する事が出来ました。次学期から情報コースに入学し、再スタートで頑張っていきます。

(自然と環境コース：桶谷 孝夫)

私が放送大学で学び始めた一番のきっかけは、大学の道に進んで看護学生の時に学ばなかった科目を学びたいと思ったことです。放送大学の良いところは、300以上の多彩な科目が開設されていて、いろいろな科目を選んで学べることだと思いました。面接授業では遠い県外からも学びに来られていて、試験勉強の取り組み方を教えていただいたり、今学んでいる科目の面白さを楽しく聴かせていただいたりと、改めて大学生であることに嬉しくなりました。

長い時間をかけた卒業までの道のりでしたが、自分にとって本当に貴重な時間でした。家族と学習センターの皆様に感謝いたします。ありがとうございました。  
(生活と福祉コース：T.K)



## 第29回 たんぽぽ美術展

第29回たんぽぽ美術展は、9月1日(水)から30日(木)まで開催を予定しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により、富山県が8月16日からステージ3に移行し、20日から「まん延防止等重点措置」が適用されることとなり、8月19日から9月30日まで学習センターの利用を制限させて頂くこととなりました。これらを受けて、残念ながらたんぽぽ美術展を開催することが出来ませんでした。来年度は新型コロナウイルス感染症が収束し、開催できることを願うばかりです。



# 学習センターの集い

## 【オンライン講演会に50名参加】

富山学窓会では、毎年この時期に富山学習センターの集いを行ってきました。昨年は新型コロナウイルスのパンデミックで、センターの集いを中止しました。今年度はウィズコロナの中、出来ることをやろうということで、オンライン講演会を企画しました。

そして10月3日(日)13:20~15:00に、講師として放送大学教授で社会心理学専攻の森 津太子先生を迎え、オンライン講演会を実施することができました。最初に開会式が行われ、学窓会会長 津本 孝と富山学習センター 門脇 真所長の挨拶があり、続いてオンライン講演が行われました。学習センターの講義室スクリーンで25名、オンライン配信で25名の計50名が視聴しました。

講演の演題は『コロナ禍と社会心理学』～感染症をめぐる問題を社会心理学の視点から考える～でした。新型コロナウイルスの問題は自然科学(医療的立場)のみで解決は可能かと問いかね、社会科学・行動科学の専門家(多くは社会心理学者)が昨年の4月に関連する知見を発表するなど、活動を行っています。特に社会心理学の立場から感染症の問題をどう考えていくか、認知バイアス、錯思などについて詳しく説明されました。森先生のリモートの講演は、大変上手で、わかりやすく有益な話だったと好評でした。

森先生、ご講演いただき本当にありがとうございました。

(津本 孝 記)



放送大学 2021  
**富山学習センターの集い**

富山学窓会会員と富山学習センター学生のための 2021年10月3日(日)

心理学の人気教授による  
『コロナ禍と社会心理学』  
～感染症をめぐる問題を社会心理学の視点から考える～

第1部  
オンライン  
講演会

講師 放送大学教授(社会心理学)  
**森 津太子 先生**

第1講義室スクリーン視聴での参加20名・自宅でのオンラインでの参加30名  
オンライン参加者にはZOOM招待状を事前に送付します。(事前のリハーサルあり)



津本会長挨拶



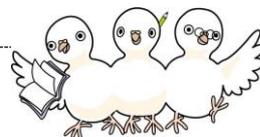
門脇所長挨拶



司会の米林さん



# 面接授業を追加登録してみませんか！



## ◆2021年2学期面接授業について

- 面接授業とは学習センター等で講師から直接指導を受ける教養学部の授業です。
- 1科目1単位です。1限90分の授業を7回、45分の授業を1回、計8回の授業を行います。授業料は1科目(8回分)あたり5,500円です。
- 他学習センターで開講の面接授業について、追加登録を希望する場合は必ず該当学習センターへ電話またはメールで申込可能かどうかを確認してください。
- Zoom 授業への変更や閉講の可能性あります。

◆**空席発表**は、10月15日(金)12時です。放送大学ホームページ及び富山学習センターで確認することができます。なお、最新の空席状況は、10月21日(木)15時からシステムWAKABAで確認することもできます。

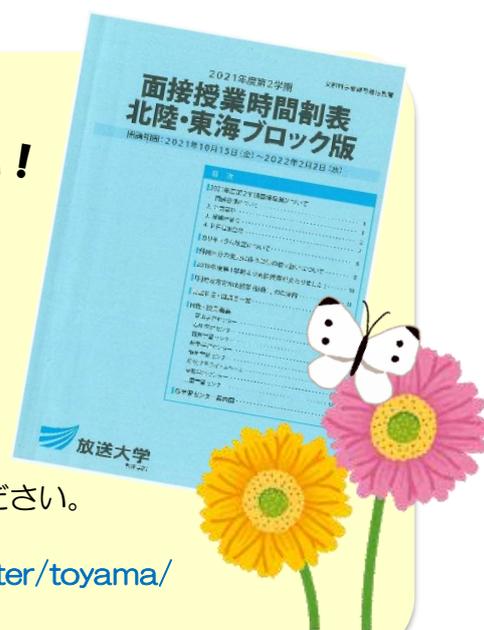
◆当センターで開設する面接授業への**追加登録**は、空席がある授業に限り 10月21日(木)10時から来所又は郵送により受け付けます。空席を上回る希望者がいた場合は、10月21日(木)10時までに当センターに来所されている方を対象に抽選を行います。それ以降は空席が埋まるまで先着順に受け付けます。なお、追加登録の締切日は、原則として開講日の1週間前となります。詳しくは次ページをご覧ください。

※郵送の場合、各科目の追加登録締切日までに、①科目追加登録申請書、②学生証のコピー(申請書に貼付)、③授業料、④返信用封筒(宛名明記、84円切手貼付)を同封し、現金書留でお送りください。ただし、直接来所の方が優先されます。

## ◆受講前に時間割(シラバス)をご確認ください！

面接授業の日程・実施時間、授業概要、8回分のテーマ、成績評価の方法などが記載されていますので、授業に臨む前に必ず一読しておいてください。特に、「受講者が当日用意するもの」は忘れずに各自で準備してください。

※ 変更等が生じる場合がございますので最新の情報にご注意ください。  
放送大学ホームページ <https://www.ouj.ac.jp/>  
富山学習センターホームページ <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/toyama/>



# 2021年度第2学期 富山学習センター面接授業一覧

開講日	追加登録締切日	科目名	講師名	定員	科目区分
10/16(土) 10/17(日)	追加なし	ネイティブの心が分かる英文法3	向井 理恵	20名	基盤科目： 外国語
10/17(日) 11/14(日) ※【変則日程】	追加なし	貧困と社会福祉	志賀 文哉	12名	専門科目： 生活と福祉
10/23(土) 10/24(日)	追加なし	コミュニケーション学入門	大橋 理枝	20名	導入科目： 人間と文化
10/30(土) 10/31(日)	10/23	心理検査法基礎実習	松尾 藍	20名	専門科目： 心理と教育
11/6(土) 11/7(日)	10/30	心理学実験2	井戸 啓介	20名	専門科目： 心理と教育
11/6(土) 11/7(日)	10/30	建築・都市・景観と自己同一性	松政 貞治	12名	専門科目： 人間と文化
11/13(土) 11/14(日) ※【教科書あり】	11/6	PCの基礎とWebデザイン入門	春木 孝之	15名	基盤科目
11/20(土) 11/21(日)	11/13	認知行動療法	村上 千恵子	20名	専門科目： 心理と教育
11/20(土) 11/21(日)	11/13	薬理学の基礎	山本 武	12名	専門科目： 生活と福祉
11/27(土) 11/28(日)	11/20	日本史の史料講読—伊勢参宮の旅	鈴木 景二	20名	専門科目： 人間と文化
12/4(土) 12/5(日)	11/27	日本憲法史から考える法・憲法	荒邦 啓介	20名	専門科目： 社会と産業
12/11(土) 12/12(日)	12/4	大陸進化論と日本列島発達史	梶座 圭太郎	20名	専門科目： 自然と環境
12/11(土) 12/12(日)	12/4	ライフコースと生涯学習	藤田 公仁子	12名	基盤科目
12/18(土) 12/19(日)	12/11	社会資本と歴史まちづくり	丸谷 芳正	20名	専門科目： 社会と産業

- ※ 追加登録締切日「追加なし」の科目は、日程の都合により追加登録できません。
- ※ 「貧困と社会福祉」については連続した土日ではなく、変則的な日程となっております。
- ※ 「PCの基礎とWebデザイン入門」については指定された教科書が必要です。  
必ず購入して授業に臨んでください。

# ゼミ・サークル活動について

富山学習センターには、客員教授の指導のもと学生が発表や討論を行う『ゼミ』のほか、趣味や関心が同じ学生・卒業生が自主的に集まって、互いに啓発し親睦を深める『サークル』があります。

ゼミでは放送授業と異なり、特定の分野に興味がある学生が集まって、発表や討論を中心に進めていきます。ゼミでは単位修得できませんが、富山学習センター所属の学生であれば、どなたでも無料で参加できます。

◆申込方法については事務室までお問い合わせください。

ゼミ	「心理ゼミ」 開講予定のゼミ「社会心理学」：松尾 藍先生 毎月第1木曜日(原則)10:00~12:00
サークル	「基礎英語勉強会 -The 寺子屋-」 「哲学カフェ・とやま」

【重要】新型コロナウイルス感染症対策のため、ゼミ・サークル活動はただいま自粛中です。  
活動再開はホームページ等でお知らせいたします。



# オープンセミナーの受講生募集！

日時	テーマ・講師	場所
12月5日(日) 13時30分~15時	『つながる心、離れる心』 講師：松尾 藍 (客員准教授)	魚津市立図書館
12月19日(日) 10時30分~12時	『データサイエンスの魅力』 講師：春木 孝之 (客員准教授・富山大学 学術研究部 都市デザイン学系准教授)	富山市立図書館本館 (TOYAMA キラリ内)

**申込方法** 「氏名と電話番号」を電話またはメールにてお知らせください。

どなたでも（放送大学生でなくても）無料で参加できます。

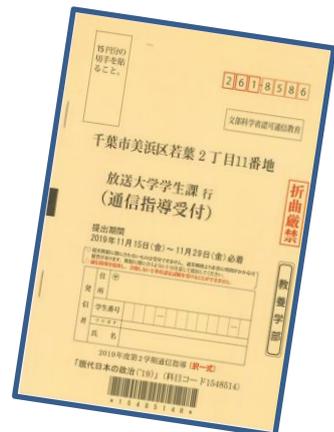
富山学習センター TEL 0766-56-9230 Email toyama.sc@ouj.ac.jp

※ 新型コロナウイルスの感染状況等により、変更・中止になる場合があります。

## 通信指導問題は必ず提出しましょう！

### ◆ 通信指導とは

- 放送授業及び一部オンライン授業では、各学期の途中に1回、前半の一定の範囲で出題される問題を提出し、担当教員の添削を受ける必要があります。これが「通信指導」です。
- 問題は、学期初めに印刷教材（テキスト）と一緒に送付されます。問題形式は、択一式、記述式、併用式があります。11/4（木）までに届かない場合、科目登録をした科目と異なる科目の問題が届いた場合または落丁等があった場合は大学本部(TEL:043-276-5111)にご連絡ください。※オンライン授業等で提出方法が Web のみの場合は、冊子での問題送付はありません。
- 提出先は大学本部です。必ず期間中に到着するように提出してください。
- 通信指導の添削結果により**単位認定試験の受験資格を得ることができます**（未提出あるいは期限までに提出しなかった場合は、受験できません。）。
- 出題範囲は、概ね授業の半分です（全15回であれば前半8回程度）。
- 通信指導の答案を期限までに提出された方には、**自習型問題（提出不要）**の解答・解説を通信指導問題の添削結果送付時期に、別々に送付されます。



### ◆ Web 通信指導が便利です！

通信指導の提出は、一部科目を除き、インターネット上で提出ができる「Web 通信指導」が便利です。システム WAKABA「学内リンク」(トップページ右上) → Web 通信指導で提出することができます。

Web で通信指導を提出した場合は、郵送による提出は不要です（提出されても無効となります。）。

#### 2021年度第2学期の通信指導提出期間

- 郵送による提出の場合  
11月16日(火)～11月30日(火) 必着
- Web 通信指導による提出の場合  
11月9日(火)10:00～11月30日(火)17:00

### ◆ WAKABA で提出状況の確認ができます！

通信指導の提出状況の確認は、システム WAKABA「教務情報→履修成績照会」画面において確認できます。

【郵送による提出の場合】大学本部での手続きが済み次第、履修成績照会画面の通信指導の欄に「受理」と表示されます。提出期限までにご提出いただいた場合、12/6頃までにすべての科目が「受理」と表示されます。問題冊子ごとに受付処理をしているため、表示される順序に差があります。

【Web による提出の場合】上述のとおり通信指導提出後ただちに、「Web 通信指導」ページにおいて、各科目の欄内に「提出済(送信済)」と表示されます。システム WAKABA の「履修成績照会」画面には、目安として提出(送信)いただいた翌日か翌々日に「受理」と表示されます。

## 2021年度第2学期単位認定試験の実施について

2021年度第2学期単位認定試験については、新型コロナウイルス感染症に関する状況により、試験会場での受験ではなく、**自宅受験にて実施いたします。**

実施方法が自宅受験になり、解答は郵送で提出します。また、試験期間が下記のとおり変更になります。詳細は、12月末頃の本学ホームページ及び郵送でお知らせします。

単位認定試験期間 2022年1月14日(金)～1月21日(金) (消印有効)

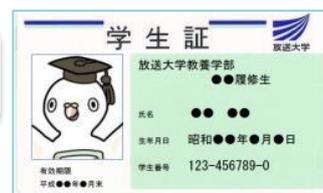
# 事務室からのお知らせ

## その1 「学生生活の葉」と「学習センター利用の手引き」について

「学生生活の葉」は大学本部から送付されます。最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。「学習センター利用の手引き」は、富山学習センターの利用時間・閉所日・交通案内・学年暦など、お役に立つ情報が記載されています（まだお手元にない方は、当学習センター受付までお申し出ください。）。

## その2 各種証明書等の交付について

### ■学生証の交付



新規・継続入学者の方は、**学期開始後早いうちに、「入学許可書」を持って当学習センターへ**お越しください。有効期限切れの学生証の更新は、古い学生証と交換で新しい学生証を発行します。

なお、顔写真を登録されていない方は、写真票（「学生生活の葉（巻末）」）を早めに本部学生課にお送りください。この写真票の写真をもとに、**学生証を富山学習センターで発行し、受付でお渡し**します（本部からは送付されません）。学生証は放送大学学生であることを証明する身分証明書であり、図書室・視聴学習室の利用、**単位認定試験の受験の際に必要**ですので、必ず発行手続きを行ってください。

### ■各種証明書の交付



■**在学証明書、成績・単位修得証明書、卒業(修了)証明書、卒業(修了)見込証明書、在学期間証明書、履修証明書**の発行をご希望の方は、**最寄り学習センター**の受付にて、『諸証明書交付願』（学生生活の葉（末巻様式 9））に発行手数料（1通につき 200 円）を添えて提出してください。

■**学力に関する証明書（教員免許状申請用証明書）**につきましては、**所属学習センターでのみ**発行いたします。発行には**2週間程度**かかりますので、十分に余裕を持って請求してください。

なお、『諸証明書交付願』は「学生生活の葉（巻末様式 10）」の様式をコピーして使用するか、システム WAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードしてください。



郵送の場合…①～③を送付してください。

- ① 『諸証明書交付願』 必ず**連絡の取れる電話番号**をご記入ください
- ② 発行手数料 現金書留または郵便小為替（1通につき 200 円分）
- ③ 返信用封筒 長型 3号に 94 円切手貼付、宛名明記

## その3 各種手続きについて

### ■休学届（全科履修生・選科履修生）



入学後のご事情（病気や転勤など）により、修学を継続できない場合には、休学することができます。

- ① 「休学願」（「学生生活の葉（末巻様式 5）」）を本部へ郵送にて提出することで休学できます。

なお、システム WAKABA「教務情報→変更・異動手続」でも手続きできます。

- ② 休学期間は、1 学期間を単位とし、全科履修生は通算して 8 学期間（4 年間）まで、選科履修生の場合は通算して 2 学期間（1 年間）までです。

- ③ 休学期間中は、通信指導の再提出および単位認定試験の再試験受験ができなくなりますのでご注意ください。
- ④ 休学期間中は本部図書の出借サービスを受けることができません。
- ⑤ 休学期間が終了する際は、復学する学期の分の科目登録申請を忘れずに行ってください。

2022年度第1学期からの休学：

2021年10月20日（水）9：00～2022年3月31日（木）24：00（必着）

## ■住所等の変更



入学後、「住所」や「電話番号」などに変更があったときは、速やかに「住所等変更届」（学生生活の葉（巻末））を所属学習センターへ提出してください。またシステムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」から変更もできます。併せて、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。住所変更の手続きが取られていない場合、「単位認定試験」等に関する重要な通知が届かない可能性があります。

## ■所属学習センターの変更



（次学期に学籍がない方及び特別聴講生は、変更できません。）

入学後のご事情（転勤など）により、所属学習センターの変更を希望されるときは、『所属学習センター変更願』（「学生生活の葉（巻末様式2）」）を本部へ提出するか、システムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」から手続きをしてください。

学期を遡っての変更及び学期途中からの変更はできません。（2022年度第1学期から変更する場合、10月20日～2022年2月8日までに本部必着となっています。）

## ■単位認定試験の試験会場（受験センター等）変更



単位認定試験は、原則として所属学習センターにおいて受験することになります。転勤・転居等のやむを得ない事情のため所属学習センター以外で受験を希望する場合は、『単位認定試験受験センター変更願』（「学生生活の葉（巻末様式11）」）を本部へ提出してください。

【システムWAKABAの場合】教務情報→変更・異動手続 10/1（金）～11/30（火）

【郵送の場合】「単位認定試験受験センター変更願」を本部へ提出（様式11）10/1（金）～11/24（水）

## その4 単位認定試験問題及び解答・解説の公表について

単位認定試験の問題及び解答・解説は、システムWAKABA「学内リンク」（トップページ右上）→単位認定試験問題・解答等に掲載するとともに富山学習センターでも公表しています。なお、当学習センターでの閲覧はできますが、コピーはできません。また、有料で本部に郵送サービスを申し込むこともできます。公表期間は、公表開始後1年間です。従って、過去2回分が公表の対象になっています（「学生生活の葉」77ページ参照）。

## その5 学習相談のお知らせ

当センターでは、所長・客員教員が皆さんの学習上の様々な相談に応じています。卒業研究、大学院進学、履修計画などでお悩みの方など、どなたでもお気軽にご利用ください。「学習相談希望」の旨、学習センターにご連絡いただければ、「学習相談申請書」をお送りします（申請書はHPからダウンロードもできます。）。申請書受理後、所長・客員教員と日程調整を行い、学習相談の日時をご連絡します。詳しくは富山学習センターHP（スケジュール・授業案内→学習相談一覧）をご覧ください。

# 10月～1月のスケジュール

【重要】新型コロナウイルス感染症対応のためスケジュールが変更される場合があります。随時、ホームページ（大学本部、富山学習センター）などで確認をお願い致します。

## ◆10月

- 1 第2学期放送授業開始
- 2 2022年度大学院全生入学第1次選考
- 3 富山学習センターの集い
- 5 第2学期オンライン授業開始
- 9 学生研修旅行（中止）
- 15 第2学期面接授業 空席発表
- 16・17 面接授業
- 21 第2学期面接授業 追加登録受付開始（10時）
- 23・24 面接授業
- 30・31 面接授業

## ◆11月

- 6・7 面接授業
- 9 通信指導提出開始<WEB>（～11/30 17時）
- 13・14 面接授業
- 16 通信指導提出開始<郵送>（～11/30）
- 20・21 面接授業
- 27・28 面接授業
- 30 通信指導提出締切

## ◆12月

- 4・5 面接授業
- 5 オープンセミナー（松尾先生）
- 11・12 面接授業
- 18・19 面接授業
- 19 オープンセミナー（春木先生）

## ◆2022年1月

- 14～21 単位認定試験  
（試験問題を閲覧、解答できる期間）
- 21 答案提出期限（消印有効）

富山学習センター ☎ 0766-56-9230

<開所時間>

- ・通常期間（火～日曜） 9:00～17:30  
（図書室・視聴学習室利用時間 9:00～17:15）

※ 新型コロナウイルス感染症対応のため利用時間を変更する場合があります。

青字…面接授業、  
オープンセミナーなど  
赤字…重要な期日

10月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2022年 1月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

閉所日【月曜、祝日、臨時閉所日】